

町の生活情報紙
— HIDE PUBLIC RELATIONS —

広報いいいで

3

11 March
2010
Vol.996



SPECIAL EDITION

特集◎いいいで人語り

観光プロジェクト台湾人観光客誘致
第30回中津川雪祭り

写真/めざみの里観光物産館内「サウンドさんど館」で、町特産「鳴き砂」の音を楽しむ高橋さん親子

- 03 特集◎いいで人語り
齋藤徹さん(松原) / 五十嵐あいさん(白川) / 柏倉健次郎
警部補(長井警察署飯豊駐在所)
- 10 まちかどNEWS
東部地区雪中ゲーム大会 / 飯豊ライオンズクラブ節分ボ
ランティア / いいで地域史学習会 / 活動団体報告会ほか
- 12 台湾人観光客誘致
～可能性を秘めた町の観光プロジェクト～
- 14 直伝おふくろの味
- 15 子育てファイル / あ～す図書室情報
- 16 第二小学校健康教育推進学校最優秀校表彰
飯豊中学校全国中学生ものづくり教育フェア多数入賞
- 17 リレーエッセー校長室便り / 町長の見て歩き
- 18 がんばりの軌跡
小学生・町民スキー大会 / 町総合体育大会総合得点報告
- 19 やまがた子育て応援パスポート事業のお知らせ / 広報い
いで定期購読のお知らせ
- 20 お知らせ / 戸籍の窓 / 人の動き / 編集後記
- 22 第30回中津川雪祭り
～地域の情熱は雪をも焦がす～
- 24 未来につなぐ～いいでの美しさをいつまでも～

町のホームページから

さらに情報を！

町からのお知らせや情報は、
飯豊町ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
でも紹介しています。
知りたい情報は、「検索キーワード」を、ホームページ
の検索ボックスに打ち込んでください。当該ページへ
簡単に移動することができます。

こちらのボックスに
「検索キーワード」を
打ち込んでください。



表紙

今月の親子

松原在住

高橋正彦さん(32歳)
郁子さん(32歳)
史華ちゃん(3歳)
瞭太くん(1歳)



前列左から史華ちゃん、瞭太くん。
後列左から正彦さん、郁子さん

「1年間つばき保育園で
過ごし、史華は目を見張る
ほどの成長でした」と話す
正彦さんと郁子さん。お姉
さんとしての自覚も芽生え、
弟の着替えの準備を手伝っ
てくれるほどです。春の添
川児童センターへの入園を
控え、「子どもの成長が一
番の楽しみ」と両親は子育
てを心から楽しんでます。



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。



Special Edition
Brilliant Person Story
in Iide Town



特集◎いいで人語り

厳しい経済、^{へいそく}閉塞感の漂う社会。
逆境にあるときこそ、
その人の本質が見えるという。
ささやかな一歩だとしても
夢と責任感をもって
まちづくりに励む人たちが
飯豊町にはたくさんいる。
人が社会の元気を生み出す。
町内で活躍する人たちを紹介します。



FILE1 : Saito Toru
FILE2 : Igarashi Ai
FILE3 : Kashiwagura Kenjiro

PROFILE

さいとう・とおる●1940年12月、松原生まれ。風景写真を中心とし、撮影枚数は年間で8,000枚にも及ぶ。朝日、夕日、初雪などの自然現象を印象的にとらえる技術に定評があり、コンテストでの入賞は多数。地域活動にも熱心で、東部地区公民館長も務める。公民館の玄関には自ら撮影した写真を展示し、地域住民から好評を得ている。松原在住

町の写真クラブ、男声合唱団の設立に貢献
 趣味を持つて人生を楽しむ
 やりがいは生きがいになる



FILE 1

いいでフォトクラブ会長
 男声合唱団プロジェクト会長

Saito Toru
齋藤徹さん

【齋藤徹さんの作品】



『薄化粧』

11月、初雪が積もる喜雲寺（添川）を撮影

カメラ：キャノンEOS-1D MARK III
 レンズ：キャノン24mm-105mm F4
 絞り：F8.0 シャッター速度：1/60秒

【齋藤徹さん“おすすめ”ツール】



徹さんがカメラ、三脚と共に必ず携帯する必須の撮影用品。固定したカメラの水平を確認する「水準器」(左上)、ぶれないようにシャッターをきるための「レリーズ」(右上)、スローシャッターでの光量を抑えるレンズ装着「フィルター」(下)

これまで町にはなかった二つのクラブが、今年度に設立された。「いいでフォトクラブ」と「男声合唱団プロジェクト」。写真と合唱。その双方の舵取り役を務めるのが齋藤徹さんだ。

徹さんが、写真展やコンクールに向けた本格的な写真撮影を始めたのは、六十三歳で会社員を引退してから。しかし、それ以前からもカメラは常に手にしていた。十八歳のときアルバイトをしてお金を貯め、念願だった自分専用のカメラを初めて購入。当時、大衆向けに販売されたオリンパス・ペンだった。地元の子ども相撲大会やお祭りなど日常の風景を好んで撮った。東京オリンピックの聖火ランナーを地域住民あげて迎える様子も記録している。五十年近くファインダーを通して町の人々の様子を見つめ続けてきた。

「あのころ、町には本当ににぎわいがありました。微力ながらも新たな活動を起こして町を元気にしたいという気持ちで、フォトクラブと男声合

唱団の代表を引き受けました」。

実は、男声合唱団の設立にはこんな経緯があった。徹さんの妻・久子さんは、女声合唱団「コラル・ド・めぐみ」に所属している。昨年十月、町民総合センター「あゝす」で結成十五周年を記念するコンサートが開かれた。その際、「徹さんの写真をぜひ会場に」との依頼を受けて作品を展示した。コンサート後の反省会に徹さんも出席。そしてそこには、町の芸術文化振興専門員の作詩家・村田さち子先生の姿もあった。村田先生は、町制施行五十周年記念合唱組曲「飯豊山／我が心のアルカディア」の作詩を担当。席上、村田先生が徹さんに声をかける。

「あの合唱曲は、男声の歌声が加わることで音が広がり、さらに雄大な飯豊山の壮麗さが増します。どうか力になってほしい」との言葉だった。

合唱は、二年前の町制施行五十周年記念式典での発表以来遠ざかっていた。村田先生の言葉で、徹さんに再び合唱

への思いが芽生える。

「歌が下手だからと合唱を敬遠される方は多いです。でも写真と同じで初めから上手な人はいません。最初は、大きな声で歌ってストレス解消のつもりでいいのです。一時間歌うだけで汗をかき、運動にもなります」と徹さん。

クラブの設立に、徹さんはもう一つの思いがある。それは「趣味の大切さ」を知ってもらうこと。写真も合唱も、人に見てもらい、聴いてもらうことで手ごたえを感じ、充実感を得られる共通点があるという。それは「やりがい」になり、「生きがい」となる。

「二つのクラブを設立できたのは、会員になられた皆さんをはじめ多くの方々のご協力のおかげです。フォトクラブも男声合唱団も目標をもって少しずつレベルアップを目指したいです」。

そう語る徹さんの目の輝きは、初めてカメラを手にしたあの日から、きつと今も変わっていないのだろう。



男声合唱団プロジェクト

練習日／毎月第2・第4火曜日
 3月まで19:00～ 4月から19:30～
 会費／入会費2,000円 月会費1,000円
 ☎町民総合センター「あゝす」 ☎72-3111

「プロジェクト」は、ドイツ語で「乾杯」の意味。合唱を楽しみながら、健康づくり・まちづくり・仲間づくりを目指し、ときどき乾杯をして交流を深めようという意味が込められている。平成22年度は定期的な練習を重ね、町の演奏会、音楽祭などへの出演を計画する。初心者大歓迎。

これまで町内に写真愛好家の組織団体は設立されていなかった。いいでフォトクラブは、初めて町内の写真愛好家が集い交流を深める場として設立された。会員が共同で展示会などを開催し、互いの写真技術の向上を目指す。現在は町内外から18名が在籍し活動している。初心者大歓迎。



いいでフォトクラブ

定例会／毎月第1火曜日
 会費／年会費3,000円
 ☎町民総合センター「あゝす」 ☎72-3111

PROFILE

いからし・あい●1937年12月、宇津沢生まれ。07年4月に農家民宿「いからし[本家]」を開業。関東や関西などの首都圏からのお客様も多い。地区の民生委員を務め、高齢者が健康づくりに励む「ゆうゆうクラブ」の設立にも尽力した。ほかにも農産物加工組織「かたくりの会」事務局を務めるなど多方面で活躍。趣味は大黒舞と手芸。白川在住

農林漁農家民宿おかあさん百選認定

感じて欲しい故郷の温かさ
継承したい中津川の文化を

FILE2

なかつがわ農家民宿組合副組合長
農家民宿 いからし「本家」

Igarashi Ai

五十嵐あいさん



上／五十嵐さん宅の玄関に掲げられた農家民宿の看板。リピーターのお客様は「ただいま」と言って、玄関に入るとい
中／昨年6月に千葉県八千代市の中学生が学校教育旅行として中津川に民泊。1泊にもかかわらず、別れ際に涙を流す生徒も
下／五十嵐さん夫妻に届いた旅行生やお客様からのお礼の手紙。どれも中津川での思い出と感謝の言葉で埋め尽くされている

中津川地区で農家民宿「いからし『本家』」を経営する五十嵐あいさんは、農林水産省と観光庁が実施する「農林漁家おかあさん百選」に選ばれた。意欲的な経営と実績が認められた。

一緒にがんばっている農家民宿の仲間を思い、「自分だけの認定はふさわしくない」と初めは推薦を拒んだ。しかし、なかつがわ農家民宿組合の伊藤信子組合長は「一番多くお客様を受け入れて、がんばったから」と認定を後押ししてくれた。自分が『おかあさん百選』を受けることで、中津川の知名度が上がり、みんなの役に立つならばと決意。二月二十三日、東京都での認定式に臨んだ。仲間は、あいさんの不安をよそに「お祝いしなきゃ」と温かくたたえてくれた。

地域活性化を目指し、中津川地区に農家民宿が誕生したのは、平成十九年四月。きっかけは、山形県西置賜農業普及課の担当者からの打診だった。一度は、旅館業法や消防法などの規制に阻まれあきらめかけた。しかし平成十五年に農家民宿開業の規制が大幅に緩和。これを機に、五十嵐家を含む農家八軒が開業にこぎつけた。その仲間が集い、農家民宿組合を結成。そして今年度は新たに二軒が開業の許可を得て仲間に加わった。

中津川地区のように、まとまって農家民宿を開業している地域は全国的にも珍しい。それがこの地区の強味だ。学校教育旅行のような団体の受け入れを可能にし、家庭の事情でお客様を迎えられないときは、仲間によってお客様に迷惑をかけることを少なくしている。

夫の榮彦さんとの二人三脚で経営を切り盛りするあいさん。

「お客様が緊張しないように、自分たちも肩ひじ張らずに普段どおり接するように心がけています」。

しかし、いっどんなお客様が来るかわからない不安は付きまとう。飛び込みで宿泊したいと訪ねてきた女性が、

あいさんが支度をしている合間に無言でいなくなっていたこともあった。

それでもお客様の喜びの声を聞くと、農家民宿をやってよかったと実感する。

昨年は、千葉県と宮城県から四校の中学生約二百四十名が学校教育旅行として中津川地区を訪れた。今年はずらに学校数が増える予定だ。

都会育ちの子どもたちは小川の清らかさに驚き、家の周りを元気に駆け回る。苦手な野菜も、あいさんが取れたてのものを調理して食べさせると、おいしそうにほお張る。保護者から食べられなかったものが食べられるようになったと感謝されたことも。

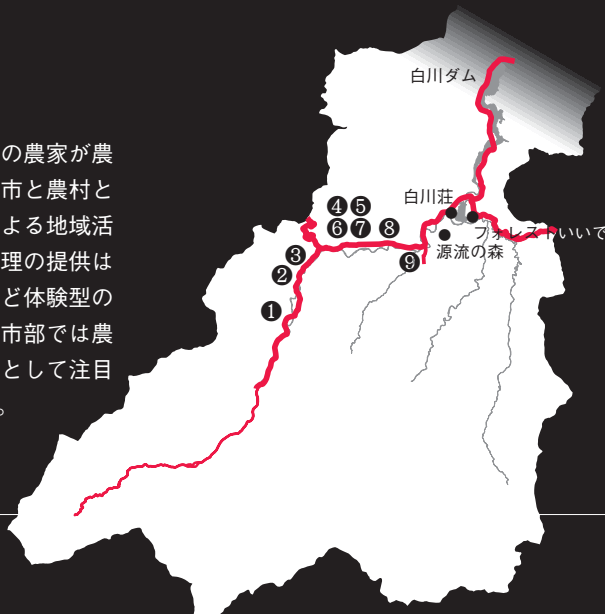
「子どもたちの純真さは、都会も農村も変わりません。子どもたちの笑顔があるからがんばれるんです」。

今後も中津川地区に農家民宿の仲間が増え、この感動を共有したいと、あいさんは願う。そして自分たちが立ち上げた農家民宿を次の世代にも引き継いでもらいたいと切望している。

中津川地区の農家民宿

3月1日現在、中津川では、9軒の農家が農家民宿を開業している。目的は、都市と農村との交流（グリーン・ツーリズム）による地域活性化。地元の食材を生かした郷土料理の提供はもちろんのこと、農業や山菜採りなど体験型の付加価値を付けているのが特色。都市部では農山村の生活を経験する学校教育の場として注目されている。料金は大人6,800円～。

☎飯豊町観光協会 ☎86-2411



- ①庄太郎（岩倉）
- ②長右衛門（岩倉）
- ③いろり（岩倉）
- ④長作（白川）
- ⑤いからし「本家」（白川）
- ⑥善左衛門（白川）
- ⑦いからし「新家」（白川）
- ⑧つくし（下屋地）
- ⑨中村（遅谷）

一月二十九日、長井市のTASビルで、「長井警察署員を励ます会」が開かれた。管内の民間人や事業所などが主催し、功績のあった警察官を称えるもの。そして09年度の「市民町民の警察官」には、飯豊駐在所の柏倉健次郎警部補が選ばれ表彰された。

柏倉警部補は、在職三十八年のベテラン警察官。警務、生活安全、交通、警備など、多くの現場を経験してきた。警察音楽隊に所属してチューバを吹いていたことも。式典の来賓だった皇族の前で演奏したことを誇りにする。

そんな長い警察官人生で最も印象に残っているのは、七十八年の「成田闘争」。成田国際空港開港前の警備に動員された。空港建設反対派による激しい抗争は、殉職した警察官も出たほどだった。着いたのは真夜中。休む間もなく警備に立たされた。周りは真っ暗闇で何もない野原のような場所だった。「いつ反対派に奇襲されるか、正直怖かったですよ。任務期間中ちょうど長男の出産予定日で、生まれて一週間後にやっと対面できました」。

柏倉警部補は笑って当時を振り返る。職務に忠実なのは今も変わらない。

治安を守るためには、「地域をくまなく回る」ことが大切だと考えている。町内の家庭や事業所などを二年間かけて千二百軒以上訪ねた。目的はもちろんだら、防犯の呼びかけと情報収集。今は二巡目に入っている。

「パトカーが町内を頻繁に回っているだけで、犯罪者は警戒し、その町に近づこうともしません。それがパトロールの効果なのです」。

もはや部落名を聞けば、部落と部落の境がどこかさえもわかる。

今、柏倉警部補が最も懸念しているのは、町内に高齢者のみの世帯、または高齢者の独り暮らしが急増していることだ。そういった世帯を中心に訪ねて声をかけるようにしている。高齢者宅を狙った窃盗や詐欺などの事件が多発しているからだ。

「訪ねるとすごく喜んで迎えてくれます。一時間以上話続けられる方もいます。でもそこをつけこまれないようにしなければいけない」。

柏倉警部補が飯豊町に来て驚いたのは、地域の結束や近所同士の仲間意識の強さだ。そしてそれが防犯に大きく役立つと考えている。互いに声を掛け合い、地域内での異変の情報を共有する。近隣で不審な車や人物の出入りはないか――。最初に犯罪者に狙われるのは、子どもや高齢者など社会的弱者からだ。

「外国人を含む窃盗団は今、全国にはびこっています。『自分たちのところは大丈夫だろう』という意識は禁物。夜はしっかり戸締りをするなど、自分の身は自分で守ることが先です」。

柏倉警部補の温和な表情が引き締まった。ベテラン警察官だからこそ、防犯意識の大切さを強く認識している。

交通違反・事故 平成21年中 犯罪

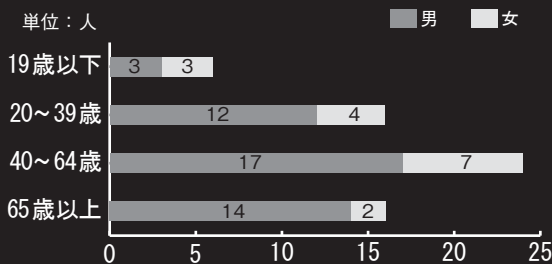
データ／長井警察署調べ

免許保有者数1万人あたりの比率
交通違反・事故の状況

	飯豊町	長井市	白鷹町
飲酒運転	7.17	6.59	3.71
速度違反	12.54	15.72	11.12
全交通違反	826.02	703.31	662.34
交通事故第1原因者	111.09 (※)	80.62	93.56

※交通事故第1原因者は、県内ワースト1位

飯豊町民における事故第一原因者の
年齢・性別の内訳



平成21年中

長井警察署管内における
犯罪・交通安全の情勢



データ／長井警察署調べ

犯罪
刑法犯の認知状況

(単位: 件)

	飯豊町	長井市	白鷹町
凶悪・粗暴犯	2	9	0
窃盗犯	11	66	15
知能犯	0	6	3
風俗犯	1	0	0
そのほか	4	12	3

凶暴犯／殺人、強盗、放火、強姦
 粗暴犯／暴行、傷害、脅迫、恐喝など
 知能犯／詐欺、横領、汚職など
 風俗犯／賭博、わいせつ事件など
 その他／住居侵入、公務執行妨害、器物損壊事件など

街頭犯罪の主要手口認知状況

(単位: 件)

	飯豊町	長井市	白鷹町
自転車盗	0	12	0
車上ねらい	3	6	7
自動販売機ねらい	1	0	0

PROFILE

かしわぐら・けんじろう●1952年6月、大江町生まれ。71年山形県警察官拝命。山形警察署、機動隊、鶴岡警察署などを経て08年4月から現職。「地域の安全・安心を守る」を使命感に日夜職務にあたる。健康づくりとパトロールを兼ねてのウォーキングが日課。自宅は山形市にあり、現在は妻と共に飯豊駐在所に住み勤務する

長井警察署員を励ます会「09年度市民町民の警察官」表彰
ベテラン警察官だからこそ
パトロール活動を重視する

FILE3

山形県長井警察署地域課
飯豊駐在所 警部補

山形県警察
Kashiwagura Kenjiro
柏倉健次郎さん

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



まちかど NEWS



東部地区雪中ゲーム大会

ユーモアたっぷりの雪像作る

2月7日、東部地区公民館前で東部地区雪中ゲーム大会が行われました。当地区の子ども会育成会が企画する冬の恒例行事。今年も子どもたちがアイデアを出し合い、干支のトラや地上デジタル放送キャンペーン・キャラクターなどユーモアあふれる雪像を作りました。審査の結果、朝青龍関を作った下町部落の雪像が1位に選ばれました(写真)。そのほか子どもたちは、雪中宝探しなども楽しみました。

わかくさサッカースポーツ少年団食育講座

食事大切な体力づくり



2月13日、町健康福祉センターで「わかくさサッカースポーツ少年団」食育講座が行われました。小学生の団員と保護者など10名が参加。運動選手に必要な筋肉と体力を作るための料理作りに親子で挑戦しました。栄養に関する講話の後、町食生活改善推進員の方々の指導で、イワシのチーズ焼きなど3品を調理。参加者は、体力づくりには、運動だけでなく、食事の栄養バランスが重要だと学びました。

飯豊ライオンズクラブ節分ボランティア

健やかな成長の願いを込めて



2月3日、飯豊ライオンズクラブ(米野齊巳会長・添川)の会員9名が、節分の鬼となって町内の幼児施設を訪れるボランティア活動をしました。3班に分かれて、幼稚園や保育園など5つの施設を訪問。迫力満点の鬼に泣き出す子や懸命に豆を投げる子など反応はさまざま。同クラブの社会奉仕委員長を務める山口重彦さん(椿)は、「子どもたちには、丈夫で優しく育て欲しいですね」と話してくださいました。



ふるさと飯豊発見隊「ひまわり油大試食会」

育てたひまわりから油を搾取

2月21日、白樺地区公民館で、「ひまわり油を使った大試食会」が開かれました。ふるさと飯豊発見隊(高橋勝会長・添川)が、ひまわりの栽培と種の回収に協力された皆さんへ感謝を込めて企画。今年は約500kgの種を回収し、そこから43kgの油が絞れました。家族連れなど約30名が参加し、ひまわり油と市販の油で揚げた天ぷらを食べ比べ。「ひまわり油はさっぱりしていておいしい」などの感想が聞かれました。参加者は、そのほか環境クイズなども楽しみました。

活動団体報告会

町内5団体が活動内容を発表



2月28日、めざみの里観光物産館で、「活動団体報告会」が開かれました。NPO法人ひらすび牧場、にぎわい再現プロジェクト委員会、白樺地区公民館、風土会、松原地区保全協議会の5団体が、これまで取り組んできた活動などを報告。町内外から約80人が来場し傾聴しました。報告会の後は、町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが料理した「豆ぶかし」、「臭汁」などの町の伝統食を食べる催しも行われました。

いいで地域史学習会

先人の軌跡をたどる



2月13日、町民総合センター「あ〜す」で、いいで地域史学習会が行われました。「いいで歴史考古の会」が、考古・地理・歴史部門に分けて計3回開講。この日は、元・村上市史編纂専門員の大場喜代司氏が「村上藩と米沢(置賜)地方」をテーマに講演しました。置賜地方にとって海への最短コースだった米沢・越後街道を通じ、両者の交流の変遷などを解説。来場者約50人は、うなづきながら熱心に耳を傾けていました。



飯豊町気象講演会
(めざみの里観光物産館)



ダンス・ワークショップ
(あ〜す)



かもしかクラブ修了式
(町内幼児施設)



雪かきのポーズで記念写真を撮る台湾人カップル。雪に対する興味の大きさがわかる



可能性を秘めた町の観光プロジェクト

台湾人観光客誘致

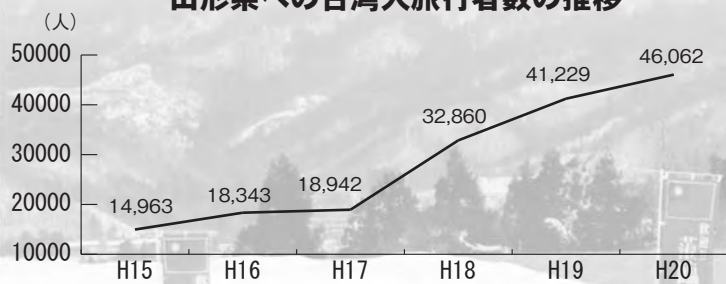
急伸する台湾人観光客の数

一月末から二月末までにかけて、どんでん平ゆり園には大型の観光バスが頻繁に出入りする。台湾からいらつしやった観光ツアーのお客様だ。目当ては、ゆり園の駐車場と園内の一部を利用したスノーモービル試乗などの雪遊びを体験すること。

町では今、観光に携わる団体や法人が連携し、台湾からの誘客に力を注いでいる。昨年の一月から本格的に受け入れ事業を開始。「インバウンド受入事業実行委員会」を町観光協会と役場産業振興課が事務局となり立ち上げた。インバウンドとは、海外からの観光客を指す観光業界の用語。実行委員会は、株式会社緑のふるさと公社、有限会社どんでん平ゆり園、飯豊めざみの里株式会社などの法人と、いいでスノーモービルクラブの民間組織とで構成する。さらに二年目の今年は、有限会社フレッシュファームを委員に加え、めざみの里観光物産館に隣接するイチゴハウスでイチゴ狩り体験もできるようにした。

雪の降らない台湾の人たちにとって、東北地方は、北海道に並ぶ冬の人気観光地となっている。年々山形県を訪れる台湾人

山形県への台湾人旅行者数の推移



資料／山形県商工労働観光部観光振興課



直伝おふくろの味

小魚菓子

カルシウムを手軽においしく



【材料】(1回量)

◇ 小魚(いりこ)	100
◇ クルミ	50
◇ 砂糖	1
◇ 酒	大きじ 2杯
◇ 水	大きじ 2杯
◇ 塩	適宜

【作り方】

- ① 小魚をフライパンで焦がさないように軽くいる。
 - ② 砂糖、酒、水、塩を鍋に入れ、半分の量の量になるまで煮詰めたら、火を止める。
 - ③ ①とクルミを加えて、ゆつくりと混ぜ合わせる。
 - ④ 混ぜ合わせるうちに③が冷めてきて白くなり、小魚とクルミがパラパラとなったら出来上がり。
- ※好みで③に白ゴマ(目安大きじ3杯)をたすと風味が増します。

骨粗しょう症の予防に生かしてください



椿地区
食生活改善推進員
高石タケさん

数年前、親戚の家でお茶うけとして出してもらい、とてもおいしかったので作り方を教えてもらったものです。早速試して家族や公民館活動の仲間に食べてもらったら、好評でした。

材料のメインは小魚なので、カルシウムがたくさん含まれています。妊婦お子様はもちろんのこと、高齢者の方には、骨粗しょう症の予防として食べてみてはいかがでしょうか。

料理のポイントは、分量を正確にすることと、煮詰めすぎないように気をつけることです。そのことで小魚やクルミに満遍なく粉を吹かせることができます。最初はうまくいかなくても何度作るうちにコツを得ると思います。今回はクルミを使用しましたが、ピーナッツなどのナッツ類でもおいしく作ることができます。



こどもみらい館の予定表 (3月・4月の日程)

3月12日(金) 10:30~	交通安全指導
17日(水) 10:30~	おはなし広場
20日(土) 10:30~	ブックスタート広場
24日(水) 10:30~	おしゃべり会
25日(木) 10:30~	かんがるー広場
30日(火) 10:30~	おたのしみ会
4月6日(火) 10:30~	あそびの広場
14日(水) 10:30~	おはなし広場



おしゃべり会 3月24日(水) 10:30~

子育てについて思うことなど、
みんなで語り合っ情報交換!

episode

子育て応援 談

kosodate
ouendan

日記が育む子どもの感性 「子どもの視点と表現力」

「せんせいあのね、きょうは〇〇してあそんだよ」から始まるわが子の日記。小学1年生になり、学校からの課題で日記を書くことになった。日々、行数は増え、内容も豊かになっていく。

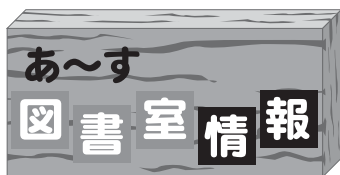
日常生活をつぶさに観察する姿がそこにはあった。アリの行列を見ての不思議さ。一人歩きの長い下校時、一人しゃがんでじーっとアリを見つめている姿が目につかんで、ほほえましい。冬には、杉の木に雪が降り積もり、しなだれた枝の様子を「お化けのようで怖かった」と。四季折々に見た感じを子どもなりに表現したり、友達との関わりすら日記は私たちに教えてくれた。

3月になり1年が終わるころ、先生はその日記に『思い出』と書かれた手作りの表紙を付けて返してくれた。親子にとってなによりの贈り物だった。

Diary is memory

● 役場教育文化課子育て支援室
TEL72-2111内線160・163

● こどもみらい館
TEL72-3336



今月の おすすめ図書



児童図書

「ポポくんのおんがくかい」

accototo / 作 PHP研究所

破れた太鼓に小石を入れたら、すてきな楽器に変身。小枝2本を叩いてみると、こちらもいい音がします。かばのポポは、くまと楽しくリズムを奏でていましたが、みんなで新しい楽器を作ることを思いつき…。



児童図書

「さくら」

矢間芳子 / 絵・構成 長谷川摂子 / 文 福音館書店

わたしはさくらの木。春には花を咲かせます。その花が散った後には、葉っぱの赤ちゃんが出てきます…。1本のさくらの1年のドラマを、精緻なイラストとリズムカルな文章で描きます。

一般図書

「海猫ツリーハウス」

木村友祐 / 著 集英社



25歳の亮介は、ファッション・デザイナーを目指しながらも、実家の農業を手伝うかたわら、「親方」の元でツリーハウス作りに精を出す毎日。だが、兄・慎平の帰郷で均衡が崩れはじめ…。『すばる』に掲載したものを単行本化。

一般図書

「男の介護 失敗という名のほころび」

吉田利康 / 著 日本評論館



核家族化が進み、介護者の約3割は男性。男性介護者には「悲惨」というイメージがついてまわるが、はたして事実だろうか。男性による介護の体験談と、楽しい介護のための技術を紹介する。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ〜す図書室 TEL72-3111

第二小学校 健康教育推進学校表彰 全国最優秀校受賞



第二小の原田榮藏校長(左)と健康教育の中心となって取り組みを進めてきた浅田千嘉子養護教諭(右)

表彰を受けて浅田養護教諭は「今後も子どもたちの現状を直視して課題を把握し、それに見合った健康づくりの取り組みをしていきたいです」と話してくださいました。

果、学級懇談会で「ゲーム機を持って遊びに行かせない」「外遊びの奨励」といった親同士の約束事が結ばれたほか、PTA母親委員会では「NOゲームNOテレビ」の提案が出されるなど、大きな成果がありました。

第二小学校は、長年取り組んでいる健康・体力づくりの実践が高く評価され、財団法人日本学校保健会から健康教育推進学校最優秀校の表彰を受けました。表彰式は、二月十八日、東京都文京区の日本医師会館で行われ、原田榮藏校長と浅田千嘉子養護教諭が出席。原田校長が受賞校を代表して謝辞を述べたほか、浅田養護教諭がステージ上で当校の取り組みを発表しました。

“将来の生き方”へつなぐ 健康教育を先進的に実践



特に、「早寝・早起き・朝ごはん」をしつかりする生活リズムの大切さを徹底して指導。その方法も先進的です。例えば、『げんきっ子カード』を配布し、児童が自らの生活習慣をチェックする仕組みや、「早寝早起き工夫点・朝ごはんメニュー」を児童会保健委員会が校内放送で紹介するなど、子どもたちが意欲的に楽しく取り組めるように工夫されています。

さらに、生活リズムの確立には、家庭の役割が大きいと考え、「家庭のルールづくり」と「家族の触れ合い」を各家庭に働きかけています。その結果、学級懇談会で「ゲーム機を持って遊びに行かせない」「外遊びの奨励」といった親同士の約束事が結ばれたほか、PTA母親委員会では「NOゲームNOテレビ」の提案が出されるなど、大きな成果がありました。

飯豊中学校 全国中学生創造ものづくり教育フェアー 多数入賞



左から米野太郎弥さん、嶋貫愛穂さん、梅津颯土さん、山口拓郎さん、高橋治憲さん、広瀬龍之介さん

「文具類をきれいに整理するための使いやすさをよく考え、さらに見た目の良さを追求しました。材料の曲線カットや面の仕上げなどは難しかったですが、満足いくものが出来上がりました」と広瀬さんは話します。

このような生徒たちのものづくりへの意欲と熱意が、見事入賞の結果につながりました。

中学生による木を使ったものづくりの技術・技能を競う大会「全国中学生創造ものづくり教育フェア」が、一月二十三日と二十四日に東京都足立区のシアター1010で開催され、出品・出場した飯豊中の生徒六名が見事入賞を果たしました。

入賞の結果は次の通りです。

▽全日本中学校技術・家庭科研究会長賞Ⅱ『キッチンチェア』・『らくらくチェア』、梅津颯土さん・山口拓郎さん・高橋治憲さん(共に三年)

▽毎日新聞社長賞Ⅱ『けやきのデスクトレイ』、広瀬龍之介さん(二年)

アイデアを凝らし 精緻な手工で見事入賞



▽優秀賞Ⅱ「栗の木のデスクトレイ」、嶋貫愛穂さん(二年)

▽優秀賞Ⅱ「目指せ木工の技 チャンピオン」東北代表で出場、米野太郎弥さん(二年)

六名は、学校からの参加募集の呼びかけに応じて出品・出場を志願。昨年十一月から準備を始め、年末年始の休みや放課後などを利用して作品づくりと技術の鍛錬に励んできました。唯一女性の嶋貫さんは「ものを作ることが好きなので、やってみようと思いい、参加を決めました」。

生徒たちは始めに試作品を作り、そこから機能とデザインの向上を考えて工夫を加え、一つの作品に作り上げました。



昨年5月、宮城県での修学旅行の様子

つひとつ確認させ、その位置関係おりに地図を向けさせる。「バス乗り場はどこーっただ？」と聞くと「あっちだ!!」。

教育において、子どもとの「距離」は、指導上極めて配慮が必要と考えている。五年生二名、六年生四名、担任と校長の八名からなる修学旅行隊。班別行動のこと。

【その1】 仙台駅前で三人ずつの二班に分かれ、行動開始! 「これからどうするの?」と尋ねると「バスに乗る!」と言う。「どこで乗るの?」の問いかけに、急に不安そうな顔、顔、顔。おもむろに、駅周囲にある目立つ建物を一つひとつ確認させ、その位置関係おりに地図を向けさせる。「バス乗り場はどこーっただ?」と聞くと「あっちだ!!」。

【その2】 お昼が近い。とあるバス停で、仙台市内の循環バスから下車。ところが今度は昼食会場が不案内。近くの大きな本屋さんで道を尋ねることにしたが、一向に戻ってくる気配がない。二、三度のぞいてみると店員さんたちとまだやりとりしている。待つことに決めた! 帰ってきたのは、約二十分後。人の「温かさ」に触れた貴重な体験。

【まとめ】 「距離」を保つことは、時として周囲にも不安を与えることがあることを覚悟しておかねばならない。そして「距離」を保つとは、子どもの言動や状況などに対して、どのように受け答えをするか、あるいは、いかに背中を押してやるかなどと集約できるだろうか。今日もまた、「つかず、離れず」の試行錯誤が続く。

リレーエッセー 校長室便り

「子どもとの『距離』」

中津川小中学校 梅津和吉校長

Profile

うめつ・かずよし
1958年1月、長井市生まれ。白鷹東中教頭、長井北中教頭を経て08年4月より当校に着任。趣味は読書と運動。教育者としてのモットーは「教育は人なり」。教育環境の最たるものは、教師と考え、子どもや地域の人たちとの信頼関係を大切にしている。長井市在住



連載 随想

町長の思ひ歩き ⑪

「未知との遭遇」

後藤 幸平

随分と多くの会や集まりの会計をやってきた。収支の誤差が出ないようには、実際には帳尻が合わないことが多い。出入を出納帳に漏れなく記載したつもりでも手元の現金を数えると帳簿の残高と違う。家計簿や自分の財布の中身なら笑い話で済む。だが、みんなのお金となるとそんな訳には行かない。ぴったりと合うようであれば信用にかかわる。土地のことわざ「コメの宿は受けてもカネの宿は受けるな」というのがある。以前聞いた。コメなら多少の誤差は許されてもお金の誤差は許されないから大変だという教訓なのだろう。

ことに最近のことだ。新米の私には未知のことが多い。一般の総会では、決算と予算は一緒に発表されるのが普通である。規模も単位も比べようもなく大きい「地域」を対象とする自治体会計であればうなずける話か。こうした地方自治体の予算編成で状況を左右する科目、それは地方交付税である。飯豊町では歳入の半分を超える。自主財源の少ない地方や人口減少の続く過疎地などに手厚く配分される。その交付税が確定するのが年度を四カ月も過ぎた七月なのである。つまり新年度予算を決める三月議会に提案される歳入の交付税額は見込み額ということになる。

国会は「政治とカネ」の問題でなかなか実質審議が進まない。しかし、国の予算が採択されると一挙に地方自治体の見込み予算が現実味を帯びて動き出す。そのあと、公費の真の帳尻は、現金の過不足ではなく、投資と効果の過不足で決まる。

新米町長の「未知との遭遇」はまだ続くのである。



2月14日、手ノ子スキー場で開催された町小学校スキー大会の様子。最終種目の学校対抗リレーでは、熾烈なレースが展開され、会場は歓声に沸いた

◆町民・小学生スキー大会

▼小学校の部

▽大回転

【4年男子】

- ①伊藤政也(手ノ子)②寒河江亮太(同)③平山駿(添川)

【4年女子】

- ①梅津優香(手ノ子)②国分ちづる(第一)③嶋貫舞(手ノ子)

【5年男子】

- ①宇津木拓海(第一)②青木伶磨(同)③井上智晴(手ノ子)

【5年女子】

- ①斎藤麻衣(手ノ子)②齋藤朱莉(手ノ子)③加藤由季乃(第二)

【6年男子】

- ①井上裕太(手ノ子)②嶋貫佑平(同)③中村俊瑛(同)

【6年女子】

- ①横山京香(手ノ子)②寒河江綾根(同)③佐原美里(添川)

▽クロスカントリースキー

【4年男子】

- ①青木天翔(第二)②志田郁弥(同)③舟山和巳(同)

【4年女子】

- ①舟山佳那(第二)②大橋瑞穂(同)③志田千紘(同)

【5年男子】

- ①鈴木大地(第二)②鈴木翔太(手ノ子)③濱邊圭吾(第一)

【5年女子】

- ①川村沙音里(第一)②小川さおり(第二)③梅津美空(同)

【6年男子】

- ①安部紳介(中津川)②井上和郎(手ノ子)③高橋空(同)

【6年女子】

- ①志田美咲(第二)②舟山莉央(同)③山口百香(同)

【リレー男子】

- ①手ノ子小 ②第二小 ③中津川

【リレー女子】

- ①手ノ子小 ②第二小 ③第一小

▼一般の部

▽大回転

【青年男子】

- ①長岡秀幸(中)②長岡幸希(同)③上田靖(小白川)

【成年1部】

- ①手塚孝雄(萩生)②宇津木敦(中)③国分充(萩生)

【成年2部】①佐藤利浩(手ノ子)

【成年3部】

- ①佐村辰衛(手ノ子)②伊藤憲之(同)③熊野昌昭(同)

【中学女子】

- ①伊藤理沙(高峰)②八島奈緒(萩生)

【成年女子】①島貫絵里(萩生)

▽回転

【青年男子】

- ①長岡幸希(中)②上田靖(小白川)③鈴木和徳(椿)

【成年1部】

- ①手塚孝雄(萩生)②宇津木敦(中)③国分充(萩生)

【成年2部】①佐藤利浩(手ノ子)

【成年3部】

- ①熊野昌昭(手ノ子)②伊藤憲之(同)③松村藤夫(椿)

【中学女子】

- ①伊藤理沙(高峰)②八島奈緒(萩生)

【成年女子】①島貫絵里(萩生)

▽親子大回転

【低学年】

- ①宇津木敦・奎俊(中)②小関貴典・杏実(手ノ子)③鈴木美香・蘭(高峰)

【高学年】

- ①井上一樹・智晴(高峰)②井上一也・優也(高峰)③前田誠・明希(小白川)

(敬称略)

◆山形県中学校総合体育大会スキー競技大会

▽ジャイアントスラローム

- 8位／伊藤理沙(飯豊中2年)

▽スラローム

- 4位／伊藤理沙(同上)
6位／八島奈緒(同2年)

◆山形県木炭品評会

- ◇最優秀賞／渡部良範(萩生)

◆米坂線に乗って米坂線を写そうフォトコンテスト

- ◇入選／横山哲夫(小白川)
◇ご当地賞／齋藤徹(松原)

(敬称略)

平成21年度町総合体育大会総合得点報告

種目	ソフトボール男子	ソフトボール女子	ゲートボール	Gゴルフ男子	Gゴルフ女子	バレーボール6人制	バレーボール9人制	卓球	加算点	総得点	順位
中	45	0	25	45	0	0	0	40	0	155	7
萩生	40	40	15	35	40	50	45	50	10	325	2
黒沢	30	0	20	15	0	40	30	0	0	135	8
椿	50	50	40	25	45	30	40	45	10	335	1
東部	30	0	50	50	35	40	40	30	0	275	5
小白川	15	35	45	30	50	30	50	30	10	295	3
手ノ子	40	45	30	40	30	30	30	40	10	295	3
高峰	30	0	40	20	0	45	30	15	0	165	6
中津川	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30	9

※全種目出場したチームには10点が加算されます。

対象年齢拡大！継続実施します

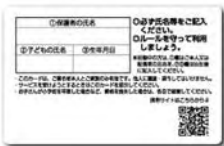
やまがた子育て 応援パスポート



問合せ先／役場教育文化課子育て支援室
☎72-2111内線160・163

県と市町村が企業・店舗からの協力を得て実施する「やまがた子育て応援パスポート事業」は、平成22年度以降も対象年齢を拡大し、引き続き実施します。

- 事業の内容／協賛している企業や店舗（協賛店）でパスポートカードを提示すると、さまざまなサービスを受けることができます
- 実施期間／平成22年4月～平成27年3月
- 対象／妊婦および小学6年までの子どものいる家庭
- カードの交付



- 子ども1人につき1枚
 - カードの交付は、平成22年3月下旬以降の予定です。保育園、幼稚園、小学校などを通じて交付します。在宅で保育している方については、郵送かまたは窓口で交付します
- ※窓口で交付を受ける場合は、お子さんの年齢を確認

- できるもの(保険証や母子手帳)を持参してください
- これまで交付したパスポートカードは、すべて新しいカードに切り替わります。
- 協賛店について／協賛店は次の2つの登録タイプがあります。下のマークを店頭に掲示してお客様にご案内しています。



子育てに優しいサービスを提供
キッズルームの設置、トイレの貸出し、
ミルクのお湯の提供など

特典・割引サービスを提供
料金割引、ポイントアップ、景品や飲
み物などのサービスなど



平成22年度分

広報いいで定期購読の 申し込みを受け付けます



“広報いいで”は
飯豊の魅力を発信する
町の生活情報紙！

「広報いいで」は、町外に暮らす皆さんにもお届けできます。どうぞご親戚、お友達に紹介ください。

◆申し込み方法

電話、郵便、ファックス、Eメールにて申し込みください。その際、次のことについて必ずお伝えください。

住所・氏名・電話番号（日中連絡のつくもの）
※今回より「申込はがき」はなくなりました。

◆定期購読料／2,200円（送料込）

※400円を追加して町議会報も購読できます。

◆代金支払い方法

申し込みをいただいた方に、納入通知書または郵便局取り扱いの代金振込書を送付します。そちらに記載された納付期限日まで、金融機関窓口などでお支払いください。

◆配達方法

代金の入金が確認でき次第、毎月広報本号を発送します。

過去10年分を1冊にまとめた「広報いいで縮刷版」も販売中です。お気軽にお問い合わせください！

Recuced-sized Edition	
広報いいで縮刷版	◎第1巻／1954年創刊号～1983年3月号 価格：3,300円（消費税・送料込）
	◎第2巻／1983年4月号～1998年3月号 価格：4,000円（消費税・送料込）
	◎第3巻／1998年4月号～2008年3月号 価格：4,000円（消費税・送料込）
	◎A4版・布製表紙・ケース付き
	◎各巻組み合わせての販売も可能です

※各巻の販売は、在庫が無くなり次第終了します。

◆申込・問合せ先

〒999-0696 山形県西置賜郡飯豊町大字樫2888
飯豊町役場総務企画課総務情報室
☎0238-72-2111内線224 FAX0238-72-3827
E-Mail i-soumujoho@town.iide.yamagata.jp

飯豊町役場

電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

**肝臓機能障害による
身体障害者手帳を交付します**

平成22年4月から肝臓機能障害による身体障害者手帳が交付されます。

◆対象者

①認定基準に該当する肝臓機能障害のある方

②肝臓移植を受け、抗免疫治療法を実施している方

◆手続き／申請書、診断書、写真（縦4cm×横3cm）を下記まで提出してください

※診断書は、身体障害者手帳指定医が作成したものに限り

※申請の受付は、2月から開始しています

◆その他／認定基準などの詳細は指定医や主治医にご相談ください

◆申請・問合せ先

町健康福祉課福祉室 ☎86-2233

**障がい者なんでも相談室
(障がい者110番)**

「障がい者なんでも相談室(障がい者110番)」では、障がいのある方や関係者の皆さんの生活全般にわたる相談を受けています。どうぞご活用ください。

◆相談員

①法律相談（弁護士）

※事前の予約が必要です

②一般相談（社会福祉士）

◆相談方法／電話・手紙・FAX・来所

◆受付日時

月曜日～金曜日 9:00～17:00

◆相談料／無料

◆相談・問合せ先／山形県障がい者社会参加推進センター（山形県身体障害者福祉会館内・山形市）

☎023-687-5333（FAX兼）

**公立置賜総合病院の敷地内
全面禁煙となります**

公立置賜総合病院は、4月1日から敷地内全面禁煙となります。ご理解とご協力をお願いします。

◆問合せ先／公立置賜総合病院総務課
☎0238-46-5000

**県民芸術祭賞贈呈式
トップコンサートのご案内**

本町の「コラル・ド・めざみ」が出演します。ぜひお聴きください。

◆日時／3月21日(日) 13:00開演

◆会場／山形県県民会館（山形市）

◆内容／県民芸術祭賞贈呈式のほか、県内の合唱・吹奏楽8団体が演奏

◆入場料／無料（全席自由）※席に限りがあります。ご注意ください

◆問合せ先

山形県県民会館 ☎023-622-7133

防衛省自衛官募集

防衛省では、国民の生命と財産を守る自衛官を募集します。

①一般幹部候補生

◇応募資格／20歳～26歳未満の方

◇受付期間／4月1日(木)～5月10日(月)

◇試験日／5月15日(土)

②一般曹候補生

◇応募資格／18歳～27歳未満の方

◇受付期間／4月1日(木)～5月10日(月)

◇試験日／5月22日(土)

③予備自衛官補

◇一般公募／18歳～34歳未満の方

◇技能公募／18歳以上で保有する技能に応じて53歳～55歳未満の方

◇受付期間／4月9日(金)まで

◇試験日／4月17日(土)

◆問合せ先／自衛隊米沢地域事務所

☎0238-23-0011

**町内プレミアム付き商品券
間もなく使用期限日です**

町内の消費拡大を図るために飯豊町商工会が発行しました「20%プレミアム付き商品券」は、3月31日(水)で利用期間が終了します。まだお持ちの方は、お早めにご使用ください。

◆問合せ先／飯豊町商工会 ☎72-3000

町の奨学金制度について

◆対象者／①借受人世帯の住所が町内である ②高校・短大・大学またはこれらに準ずる学校に在学し、優秀で経済的な理由で修学が困難な方

◆限度額

①高校またはこれに準ずる学校の在學生／月額20,000円

②短大またはこれに準ずる学校の在學生／月額25,000円

③大学に在学する学生／30,000円

◆申込方法

申込用紙などは4月1日(木)から下記で交付します

◆申込受付／4月12日(月)～4月30日(金)

◆申込・問合せ先／役場教育文化課学校教育振興室 ☎72-2111内線165

**やまがた学生就職
ガイダンスのご案内**

◆日時／4月30日(金) 13:00～

◆会場／山形ビッグウィング(山形市)

◆対象／大学・短大・高専・専修学校などの平成23年3月卒業予定者または平成22年3月卒業生

◆内容／複数の企業と個別ブースにて面談ができます。そのほか就職相談コーナーなども設置

◆参加費／無料

◆問合せ先／山形労働局職業安定部職業安定課 ☎023-626-6109

戸籍の窓

(2月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(添川市)	須貝裕貴さん
(仙台市)	阿部一千奈さん
(松原中)	本間秀章さん
	伊藤聡子さん

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
萩生 富永	怜杏ちゃん	(俊博 江利子)
萩生 安部	光姫ちゃん	(卓也 洋子)

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
中 酒町	小松 み おさん	85
手ノ子 町中	尾形 保 弘さん	79
小白川 上野	細谷 信 光さん	90
萩生 中/舗	後藤 うめよさん	87
高峰 西向	鈴木 萩 一さん	90
小白川 十文字	船山 富 子さん	77
萩生 町上	大森 二 三さん	84
椿 椿第一	船山 満 さん	55
椿 下椿	安部 ま きさん	94
萩生 中/舗	島貫 ナツエさん	74
椿 小原	笠原 富 男さん	67
黒沢 坪沼	長谷川 周 吉さん	94
椿 財津堂	高橋 三 男さん	84
松原	勝見 勇 さん	78

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

		2月分 () 内は対前月比		
世帯数	2,402 (3)	転入	7	
人	男	4,012 (-11)	転出	7
	女	4,274 (-3)	出生	2
口計	8,286 (-14)	死亡	16	

千代田クリーンセンター
再生品の提供について

千代田クリーンセンター「くりえいと工房」では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、地域の皆さんへ無償で提供しています。

◆提供品/自転車10台・家具類5点
(1回開催あたりの予定数)

◆応募方法/備え付けの申込用紙による

◆受付日時

日曜・祝日を除く9:00~16:00

【第1回 4・5月期】

◇展示期間/4月5日(月)~5月8日(出)

◇公開抽選/5月11日(火)10:00

◇引取期限/5月22日(出)

【第2回 6・7月期】

◇展示期間/6月3日(休)~7月3日(出)

◇公開抽選/7月6日(火)10:00

◇引取期限/7月17日(出)

【第3回 8・9月期】

◇展示期間/8月4日(休)~9月4日(出)

◇公開抽選/9月7日(火)10:00

◇引取期限/9月18日(出)

【第4回 10・11・12月期】

◇展示期間/10月14日(休)~12月4日(出)

◇公開抽選/12月7日(火)10:00

◇引取期限/12月18日(出)

◆留意点

①1回の展示で1世帯につき自転車・家具それぞれ1つまでの申し込みです。1世帯で複数の申し込みがあった場合は無効となります

②1点に複数の申し込みがあった場合は抽選となります

③応募には運転免許証など身分証明書が必要です

◆申込・問合せ先/千代田クリーンセンター施設第2係 ☎0238-57-4004

臓器移植に関する
ご相談ダイヤル

臓器移植医療において、私たちには次のことを選ぶ権利があります。「臓器の提供をすること」と「臓器提供をしないこと」。そして「臓器移植を受けること」と「臓器移植を受けないこと」。

臓器提供意思表示カードや医療費のことなど、正しい情報を身につけることが大切です。

臓器移植に関することなら下記までなんでもご相談ください。

◆問合せ先/勸山形県腎等臓器移植推進機構(県健康福祉企画課内)

☎023-625-1069

被害者を支援する
ボランティア活動員募集

(社)やまがた被害者支援センターではボランティア活動員を募集します。

◆募集人員

電話相談員・直接支援員 各10名

◆要件/25歳以上・性別不問

◇電話相談員…月2回くらい電話相談に従事可能な方

◇直接支援員…裁判、病院などへの付き添い可能な方

◆募集期間/4月15日(休)まで

◆応募方法/下記まで電話で申し込みの上、申込書を手ください。また申し込みには、応募動機の作文の添付が必要です

◆その他

◇支援活動候補者は、必要な研修を受講していただきます

◇業務に従事した場合は、役務費・交通費を支給します

◆申込・問合せ先/(社)やまがた被害者支援センター ☎023-642-3571

◇目を覆いたくなるような子どもへの虐待のニュースが後を絶ちません。なぜ親は、わが子をモノのように扱うようになってしまったのか。行政と地域は、なぜ子どもを守れなかったのか。私たちが考えるべきことは多いように思いますが、今年度一年間、町内の親子十二組に表紙のモデルになっていただきました。協力してくださったお父さんとお母さんには共通して、心から子どもを愛し、将来を思う姿がありました。子はかすがい、町の宝です。その象徴として、来年も一年間、親子の表紙を続ける予定です。
(横山)



SNOW & FIRE FANTASY

第30回の節目を迎えた中津川雪祭り。地域住民が力を合わせて築いてきた伝統の雪祭りは、炎をたくみにつけた演出によって、見る者を圧倒し、そして幻想の世界へ誘った。祭りの様子をカメラが追った。



1

地域の情熱は雪をも焦がす



第30回中津川雪祭り

中津川雪祭りは、二月二十七日、白川ダム湖岸公園で行われた。これまでの中津川小中学校から会場を移し、地理的なわかりやすさと駐車場の確保でお客様への利便性を高めた。そのかいあって、町内外から多くの家族連れなどにぎわった。会場内には、地域内の各部落が作った干支の虎やアニメキャラクターなど七つの雪像が並んだ。特に白川部落のロシアのクレムリン宮殿を模した城は圧巻だった。二日半がかりで作り上げ、高さは八メートル、幅は九メートルにも及ぶ。「会場が広くなった分、例年より大きな雪像になりました。作るのとはとても大変でしたが、多くの方に喜んでもらえて良かった」と白川部落の高橋亮部落長は話す。また、白川ダム管理事務所が作った高さ七メートルの巨大滑り台は、子どもたちの人気を集めた。

日が暮れると祭りは本番。雪の城は電飾され、取り巻く雪像もライトアップされた。会場周辺には、約千二百個のエコキャンドルがともされ、光と炎が冬の夜を演出し、お客様を幻想の世界へ誘った。

その後、有志の団体が作る巨大紙風船が打ち上げられた。最大八メートルの紙風船が膨らんで立ち上がり、夜空に舞い上がる。会場から拍手と歓声が沸いた。雪上のステージでは、中津川中の生徒によるよさこいソーランなどが繰り広げられ、祭りはピークに。最後は伝統行事ヤハハエロと会場を一つにしたフォークダンスで祭りを締め切った。

雪祭りを主催する中津川むらづくり協議会の渡部喜良会長（上原）は、開会セ



3



2



①氷の彫刻「龍」とクレムリン宮殿を模した雪の城 ②火の玉を起こし、巨大紙風船を膨らます中津川地区の若者たち ③中津川中の生徒によるよさこいソーラン。生徒の多くが卒業を迎え、これが最後のステージとなった ④滑った距離を競い合う「巨大すべり台大会」も行われ、多くの親子連れが参加した ⑤ホテルフォレストいいでの菅野衆治料理長が、職人技で氷の彫刻「龍」を彫り上げ会場に展示 ⑥伝統行事「雪中田植え」を伊藤幸作さん(若倉)が堂々と披露した ⑦町では環境問題を考えてもらおうと廃食油を使ったキャンドルナイトを実施。会場を彩った ⑧⑨白川部落が制作したクレムリン宮殿を模した雪像。膨大な雪の山だったものを2日半がかりの共同作業で見事に作り上げた ⑩ライトアップされた会場とヤハハエロの炎。お客様はしばし幻想的な世界に酔いしれた ⑪拍手と歓声の中、巨大紙風船は冬の夜空に高く舞い上がった

レモニーで「今日まで懸命に準備をしてくださった地域の皆さんと関係者の方々に感謝します」と謝意を述べた。三十年の節目を迎えた中津川雪祭り。地域住民の情熱があつてこそ今日まで続いてきた。その炎は開始当時から今もゆるぎない。



【入選作品】



湖霧の目覚め

(撮影場所／中津川地内)

写真は、平成20年度に開催されました「未来につなぐいいでフォトコンテスト」で入賞された作品です。

撮影者

鈴木彦三さん (福島県福島市)

白川ダム朝霧の風景を撮りたくて日の出前に到着しましたが、霧が濃くて何も見えない状態でした。日の出時刻から30分を過ぎたころから霧が薄くなって太陽が顔を出したところを撮りました。初めての撮影でしたが、その写真が入選との通知をいただき、大変光栄に思います。今後も自然の風景を題材に撮影に励みたいと思います。

写真家 佐藤秀明先生の講評

幻想的な風景ですね。夢中でシャッターを切る作者の姿が目に見えそうです。一日の幕開けにふさわしい瞬間ですね。南米アマゾンで見たこのような風景を思い出しました。

